



Sun Blade™ X6250 サーバーモジュール ご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

部品番号 820-2423-10
2007年7月、改訂A

本書についてのご意見・ご感想は、<http://www.sun.com/hwdocs/feedback> のフォームを使って弊社までお送りください。

Copyright © 2007 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

この配布物には、サードパーティによる情報が含まれることがあります。

本製品の一部分は、Berkeley BSD systems に由来し、University of California からライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. の米国ならびに他の国における登録商標で、X/Open Company, Ltd. が所有する独占的ライセンス供与権に基づいて、米国 Sun Microsystems 社にライセンス供与されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun のロゴマーク、Java, Solaris, Sun Blade は、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書は、「現状のまま」の形で提供され、法律により免責が認められない場合を除き、商品性、特定目的への適合性、第三者の権利の非侵害に関する暗黙の保証を含む、いかなる明示的および暗示的な保証も伴わないものとします。

Copyright © 2007 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, Etats-Unis. Tous droits réservés.

Cette distribution peut inclure des éléments développés par des tiers.

Des parties de ce produit pourront être dérivées des systèmes Berkeley BSD licenciés par l'Université de Californie. UNIX est une marque déposée aux Etats-Unis et dans d'autres pays sous licence exclusive de X/Open Company, Ltd.

Sun, Sun Microsystems, le logo Sun, Java, Solaris et Sun Blade sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

LA DOCUMENTATION EST FOURNIE "EN L'ETAT" ET TOUTES AUTRES CONDITIONS, DECLARATIONS ET GARANTIES EXPRESSES OU TACITES SONT FORMELLEMENT EXCLUES, DANS LA MESURE AUTORISEE PAR LA LOI APPLICABLE, Y COMPRIS NOTAMMENT TOUTE GARANTIE IMPLICITE RELATIVE A LA QUALITE MARCHANDE, A L'APTITUDE A UNE UTILISATION PARTICULIERE OU A L'ABSENCE DE CONTREFAÇON.



リサイクル
してください



Adobe PostScript

目次

はじめに v

1. 概要 1

システムに含まれているソフトウェア 1

Solaris 10 オペレーティングシステム 1

Sun Java Enterprise System 2

Sun N1 System Manager 2

サポートされているブラウザ 3

2. BIOS の注意事項 5

BIOS 画面に表示されるプロセッサの周波数が正しくないことがある
(6568226) 5

3. ハードウェアの注意事項 7

ドングルケーブルの接続 7

オペレーティングシステムが SAS ハードディスクドライブを
検出できない 7

過熱状態でないときに、ファンが高速回転する (6568234) 8

4. ソフトウェアの注意事項 9

Linux オペレーティングシステムで仮想 USB マウスが間違っ
て識別される (6568234) 9

5. サービスプロセッサの注意事項 11

シャーシのファンの問題が警告として SEL に記録されない (6558236) 11

Embedded LOM Web インタフェースからリモートコンソールに
アクセスできない 11

SP ネットワークインタフェースにアクセスできない (6568239) 12

SSH CLI セッションへのリモートコンソールリダイレクトが動作しない 13

ストレージデバイスがマウントされているときに
リモートコンソールセッションがタイムアウトする 14

はじめに

本書では、Sun Blade™ X6250 サーバーモジュールのハードウェア、ソフトウェア、およびドキュメントの注意事項を説明します。

本書には、システムについての最新情報、および Sun Blade X6250 サーバーモジュールのインストール、設定、および運用時に発生する可能性のある問題への対処方法が記載されています。この情報は、基本システムコンポーネントとそのソフトウェアのインストールと設定についての経験を持つシステム管理者を対象としています。

ここでは、前提条件、ヒント、トラブルシューティングのヒント、変更リクエストなど、ユーザーが知っておく必要のある情報が記載されています。変更リクエストには追跡番号があります (括弧内に表示)。

製品のアップデートとドライバ

ダウンロードできる Sun Blade X6250 サーバーモジュールの製品アップデートについては、次の URL を参照してください。

<http://www.sun.com/servers/blades/x6250/downloads.jsp>

関連ドキュメント

Sun Blade X6250 サーバーモジュールのドキュメントセットの説明については、システムに付属している『ドキュメントの場所』シートを参照するか、製品のドキュメントサイトをご覧ください。次の URL を参照し、ご使用の製品のページに移動してください。

<http://www.sun.com/documentation>

これらのドキュメントの一部については、上記に記載された Web サイトでフランス語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、日本語の翻訳版が入手可能です。英語版は頻繁に改訂されており、翻訳版よりも最新の情報が記載されています。

Sun ハードウェアのすべてのドキュメントについては、次の URL を参照してください。

<http://www.sun.com/documentation>

Solaris および他のソフトウェアのマニュアルについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com>

表記上の規則

字体	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、および画面上のコンピュータ出力を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>% You have mail.</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力とは区別して示します。	<code>% su</code> Password:
AaBbCc123	書名、新しい用語、強調する語句、および変数を示します。変数の場合には、実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	『 <i>User's Guide</i> (ユーザーズガイド)』の第 6 章を参照してください。これらはクラスオプションと呼ばれます。 これを行うには、スーパーユーザーである必要があります。 ファイルを削除するには、 <code>rm <ファイル名></code> と入力します。

サードパーティーの Web サイト

Sun 社は、本書で挙げているサードパーティーの Web サイトの利用について責任を負いません。また、当該サイトまたはリソースから入手可能なコンテンツや広告、製品またはその他の素材を推奨したり、責任あるいは法的義務を負うものではありません。さらに、他社の Web サイトやリソースに掲載されているコンテンツ、製品、サービスなどの使用や依存により生じた実際の、または疑わしい損害や損失についても責任を負いません。

コメントをお寄せください

Sun 社は、ドキュメントの改善を常に心がけており、皆様のコメントや提案を歓迎いたします。フィードバックは次のサイトから送信してください。

<http://sun.com/hwdocs/feedback>

フィードバックには、本書のタイトルと部品番号を記載してください。

Sun Blade X6250 サーバーモジュールご使用にあたって (820-2423)

概要

この章では、サーバーで使用可能なソフトウェアおよびその他の機能の概要を説明します。説明する項目は、次のとおりです。

- 「システムに含まれているソフトウェア」(1 ページ)
- 「サポートされているブラウザ」(3 ページ)

システムに含まれているソフトウェア

すべての Sun Blade X6250 サーバーモジュールに次のソフトウェアが含まれています。

- 「Solaris 10 オペレーティングシステム」(1 ページ)
- 「Sun Java Enterprise System」(2 ページ)
- 「Sun N1 System Manager」(2 ページ)
- 「サポートされているブラウザ」(3 ページ)

Solaris 10 オペレーティングシステム

Solaris™ 10 オペレーティングシステム (OS) は、IT プロフェッショナルが求めるセキュリティ、管理の容易性、およびパフォーマンスを実現し、これによりサービスレベルの向上とコストおよびリスクの削減が可能になります。また、Sun™ Java™ Enterprise System の基礎コンポーネントとしても機能します。Sun Java Enterprise System は、新しい予測可能なアプローチを使って開発、テスト、およびサービス提供を行う、統合されたオープンな標準ベースのソフトウェアシステムです。Solaris OS はサーバーにプリインストールされています。

Solaris 10 OS を再インストールする必要がある場合は、DVD イメージをダウンロードすることができます。

DVD イメージをダウンロードするには、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/downloads>

Solaris 10 OS のオンラインドキュメントについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com/documentation>

Sun Java Enterprise System

Sun Java Enterprise System (Java ES) は、ネットワークまたはインターネット環境を通じて配布される、企業規模のアプリケーションをサポートするために必要なサービスを構築する、一連のソフトウェアコンポーネントです。Sun Java ES はサーバーにプリロードされています。

Java ES のオンラインドキュメントについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com/documentation>

Sun N1 System Manager

Sun N1 System Manager は、何百ものシステムを管理する俊敏性を持つ一方で、管理者がコストを削減しながら管理の複雑さを軽減するのに役立つ、集約されたシステムマネージャーです。N1 System Manager ソフトウェアを使用すると、システム管理者は、1 つでも何百個でも、Sun システムを検出、プロビジョニング、パッチ、監視、および管理することができます。N1 System Manager ソフトウェアの利点には、集中管理方式で対話的な、使いやすいブラウザとコマンドラインインタフェース (CLI) があり、これにより管理者は単一のシステムまたはシステムグループに、すばやく正確に変更を加えることができます。Sun N1 System Manager は DVD としてシステムボックス内に同梱されているか、オプションのアクセサリキットの一部として付属しています。

Sun N1 System Manager のオンラインドキュメントについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com/documentation>

Sun N1 System Manager についての詳細は、次の Web サイトを参照してください。

http://www.sun.com/software/products/system_manager

サポートされているブラウザ

Embedded Lights Out Manager (LOM) の Web ブラウザユーザーインターフェースは、Linux、Solaris、および Windows プラットフォームで実行されている Mozilla Firefox および Internet Explorer でサポートされています。

BIOS の注意事項

この章では、Sun Blade X6250 サーバーモジュールに関連する BIOS の注意事項について説明します。

BIOS 画面に表示されるプロセッサの周波数が正しくないことがある (6568226)

プロセッサの構成によっては、BIOS のメイン画面に表示されるプロセッサの速度 (周波数) が正しくないことがあります。

オペレーティングシステムへの影響はありません。正しくない速度は無視してかまいません。

対処方法

正しいプロセッサの速度は Embedded Lights Out Manager (LOM) またはオペレーティングシステムから判断できます。

ハードウェアの注意事項

この章では、Sun Blade X6250 サーバーモジュールに関連するハードウェアの注意事項について説明します。

ドングルケーブルの接続

サーバーモジュールにドングルケーブルを接続している場合は、必ずそのケーブルを取り外してからラックキャビネットのドアを閉じてください。キャビネットのドアを閉じる前にケーブルを取り外さないと、ドングルが破損することがあります。

オペレーティングシステムが SAS ハードディスクドライブを検出できない

オペレーティングシステムは新しく挿入された SAS ハードディスクドライブを報告しません。

この場合、新しい SAS ハードディスクドライブを使用できません。

対処方法

Sun STK RAID REM に接続されたすべての SAS ハードディスクドライブを、ファームウェアによって初期化する必要があります (BIOS の Ctrl-A オプション)。ボリュームまたはアレイは BIOS または OS で一覧表示される前に作成する必要があります。

注 - オペレーティングシステムによっては、新しいハードウェアドライブが一覧表示される前に、再設定リブートが必要なことがあります。

過熱状態でないときに、ファンが高速回転する (6568234)

場合によっては、過熱状態でないときにもシャーシのファンが高速回転します。

オペレーティングシステムやサーバーモジュールへの影響はありません。

実際に過熱状態のときは、サーバーモジュールの障害 LED が点灯します。

ソフトウェアの注意事項

この章では、Sun Blade X6250 サーバーモジュールに関連するソフトウェアの注意事項について説明します。

Linux オペレーティングシステムで仮想 USB マウスが間違っ て識別される (6568234)

Linux オペレーティングシステムで、仮想 USB マウスが仮想マルチメディアキーボードデバイスであると報告されます。

この問題は機能に影響しません。報告されたメディアの種類は無視してかまいません。

サービスプロセッサの注意事項

この章では、Embedded Lights Out Manager (LOM) のサービスプロセッサ (SP) に関する注意事項について説明します。

シャーシのファンの問題が警告として SEL に記録されない (6558236)

シャーシのファンの問題は、BMC システムイベントログ (SEL) に警告として記録されません。

この問題はサーバーモジュールに影響しません。

対処方法

Embedded LOM を使用してシャーシのステータスを確認します。詳細は『*Sun Blade X6250 Server Module Embedded Lights Out Manager Administration Guide* (Sun Blade X6250 サーバーモジュール Embedded Lights Out Manager 管理ガイド)』を参照してください。

Embedded LOM Web インタフェースからリモートコンソールにアクセスできない

リモートコンソール Java アプリケーションを、Embedded LOM WebGUI インタフェースから起動できません。

対処方法

リモートコンソールアプリケーションには JRE 1.5.0 以降が必要です。

Web ブラウザを実行しているホスト上の Java のバージョンをアップデートしてから再試行してください。

SP ネットワークインタフェースにアクセスできない (6568239)

DHCP ネットワークの一部であるシャーシにサーバーモジュールを挿入したあとで、SP ネットワークインタフェースにアクセスできません。この問題は一部のサーバーモジュールでだけ発生します。

対処方法

1. CMM の Net Mgmt 0 ポートがネットワークに接続されていることを確認します。
2. 次のコマンドを使ってシャーシの CMM SP にログインします。

```
ssh root@cmm_ip_address
```
3. サーバーモジュールの SP インタフェースで DHCP が使用されるように設定するか、静的 IP アドレスを割り当てます。
詳細は、『*Integrated Lights Out Manager Administration Guide for Sun Blade 6000 Modular Server* (Sun Blade 6000 モジュールシステム用 Integrated Lights Out Manager 管理ガイド)』を参照してください。
4. 前面パネルにあるサーバーモジュールのドングルコネクタにドングルを接続します。
5. ホストシステムのシリアルポートにシリアルコネクタを接続します。
6. 次のプロパティで端末セッションを開始します。
 - 9600 ボー
 - 8 ビット、パリティなし、ストップビット 1
 - フローコントロールなし
7. ログイン名に `sunservice`、パスワードに `changeme` を使用して SP にログインします。
8. コマンドプロンプト (\$) で次のコマンドを入力して、ネットワークインタフェースで DHCP が使用されるように設定します。

```
/sbin/udhcpc eth0
```

SSH CLI セッションへのリモートコンソールリダイレクトが動作しない

次のコマンドを使用して SSH セッションからコンソールリダイレクトを開始すると出力が表示されず、SSH セッションを介してホストコンソールにアクセスできません。

```
start /SP/AgentInfo/Console
```

対処方法

出荷時のデフォルトの BIOS 設定により、リモートコンソールへのアクセスが無効になっています。まず、リモートコンソールリダイレクトを有効にする必要があります。

サーバーモジュールをインストールしたあとで、次の作業を行ってください。

1. リモートコンソールアプリケーションを起動します。
2. プロンプトが表示されたら、F2 を押してサーバーモジュールの BIOS 設定メニューを表示します。
3. 「Server (サーバー)」メニューで次の操作をします。
 - a. 「Remote Access Configuration (リモートアクセスの設定)」を選択します。
 - b. 「Disabled (無効)」を「Enabled (有効)」に変更します。
 - c. COM ポートとして「COM2」を選択します。

COM ポートの設定は次のとおりです。

 - 115200 ボー
 - 8 ビット、パリティなし、ストップビット 1
 - フローコントロールなし
4. F10 を押して設定を保存します。
5. サーバーをリブートします。

これでリモートコンソールリダイレクトが有効になりました。

ストレージデバイスがマウントされているときにリモートコンソールセッションがタイムアウトする

WebGUI リモートコンソールアプリケーションを介してストレージデバイスをマウントしたあと、WebGUI セッションがタイムアウトし、マウントされているリモートストレージへのリモートコンソール接続が切断されることがあります。

対処方法

リモートコンソールアプリケーションによりリモートストレージデバイスを使用しているときの WebGUI のセッションタイムアウトを無効にします。